



# もりがく県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

## 2月県議会一般質問

# かずさアカデミアパークの発展のために

木更津市選出で住み良いふるさとづくりに全力を挙げている森議員は、2月定例県議会の一般質問で質疑に立ち、かずさアカデミアパークや、ちばアクアラインマラソン、警察問題についてなど、様々な課題を取り上げ、県執行部の考え方をたずねました。その概要をお伝えします。

**森議員**

かずさアカデミアパークの先導的・中核施設として、世界初のDNAを専門に研究する「かずさDNA研究所」が平成6年に開所し、以来、様々な植物等の世界初のゲノム解説

や、約2千個のヒト遺伝子の解明など、数多くの成果を挙げた。さらに、この技術力を活かす、品種識別や病害等の可能性を判定するための遺伝子検査による種子の安定

供給の支援のほか、指定難病の遺伝子検査を、全国の800を超える医療機関から受入れるなど、社会的にも幅広い貢献を果たしてきた。こうした取組は、高度な基礎研究の実績を着実に積み上げてきたからこそ実現できたものであり、本県の誇るべき研究所である。

そこで伺う。かずさDNA研究所は基礎研究の充実強化に向けてどのように取り組んでいるのか。

**森議員**

かずさDNA研究所は、これまで培ってきたゲノム解析技術や研究成果を活かし、農業や医療分野などにおいて、社会課題の解決に貢献してきたところであり、今後も同様の役割を果たしていくため、基礎研究の充実強化を図っていくことが不可欠であると考えています。

このため、研究所では、将来、社会的重要性が高まることを期待される研究シーズの発見や育成を進める「シーズ開拓研究室」を令和5年度に設置し、バイオ技術による植物の高速育種技術開発のための基礎研究

**森議員**

等に取り組んでおり、今年度は「AIゲノム情報学研究室」を開設し、様々な研究データをAI解析することにより生命現象を解明する研究を始めたところです。

県としても、研究所がバイオライフサイエンス分野において様々な社会課題を解決し、世界をリードしていきける研究機関としてあり続けるよう、引き続き研究所の基礎研究を支援してまいります。

**森議員**

基礎研究の取組みが着実に進展しており、県もその重要性を認識し、しっかりと支えていく意思を明確に示していただき、大変強く感じています。

研究所が、基礎・応用基礎研究や技術開発分野で世界トップレベルの研究成果を挙げるとともに、その成果が着実に社会実装へと繋がるよう、県には引き続き十分な支援をお願いしたい。

**森議員**

近々、同パークでは、既に立地している企業からの土地取得による進出が中心となっていることから、県では、立地企業と日常から情報共有を図り、立地企業が土地処分を検討する際には、県と相談しながら商談

を引き続き、丁寧な管理・運営に努め、同パークが県経済をけん引する産業集積拠点として更に発展するよう、努めてまいります。

**森議員**

県にはしっかりとパーク内の立地企業の情報を把握するとともに、民間同士による売買が生じた場合には決して何でもありとなることがないようにしっかりと対応を取っていただき、今後もパークを適切に管理していくことを強く要望する。そして地元住民が不安なく暮らし続けたいことができるように、適正な対応をお願いする。

また、参加したい。そう思っていたら、魅力的な大会を目指し、積極的に新たな取組を進めていただくよう要望する。

**森議員**

参加された方が、一素晴らしい大会だった。また、参加したい。そう思っていたら、魅力的な大会を目指し、積極的に新たな取組を進めていただくよう要望する。

併せて、これら新しい取り組みが、ランナーに届くよう、しっかりと広報を実施していただくよう要望する。



2月県議会で質疑を行う森議員

## ちばアクアラインマラソンの魅力向上策

**森議員**

7回目となる、ちばアクアラインマラソン2026が、本年11月8日に木更津市と袖ヶ浦市で開催される。

走ることができる本大会は、多くの方々に本県の魅力を知っていただく絶好の機会だと思ふ。

そこで伺う。「ちばアクアラインマラソン2026」では、新たにどのような取組を行うのか。

東京湾アクアラインは成田空港と並ぶ、本県の大事な玄関口であり、その上を

の方々に参加していただくよう、大会の魅力を一層高めたいことが大変重要

知事 ちばアクアラインマラソン2026では、多くのランナーに、より楽し

く快適に参加していただくよう新たな取組を行う準備を進めています。具体的には、これまで大会を支えてくれた県民の方への感謝として県民の優先枠を設けるほか、学生・女性の参加を促進するための特典付き応援枠を設定し、先着順で募集をすることとしました。

また、女性ランナーが快適に走れるよう、更衣室やシャワールームの増設、災害用トイレカーの活用、ゴール後にマッサージやストレッチ指導などを受けられる専用のケアエリアの新設など女性用施設の充実を図ります。

さらに、大会全体のイメージを表すキービジュアル

を「青く雄大な海と空に囲まれ、アクアラインの風を感じながら駆け抜ける爽快感」を表現したポップなものに刷新したほか、参加賞Tシャツを2色にすることにより選ぶ楽しみを提供するなど、誰もが参加したくなるような魅力的な大会を目指して準備を進めてまいります。

# 青少年の健全育成の推進を

**森議員** 令和8年度の県の組織見直しにおいて、少子化対策や次世代を担うこと、も若者への支援をより一層推進するとともに、「こども・若者政策課」が

若者施策に関する部局横断的な企画立案や総合調整を推進するため、健康福祉部に「こども家庭担当部長」及び「こども・若者政策課」が

新設されることである。これに伴い、これまで環境生活部が所管していた「青少年の健全育成」に関する取組についても、令和8年度

からは新設される「こども・若者政策課」で進めていくことになる。今回の組織改正によって青少年の健全育成の取組が「こども・

若者政策課」でさらに充実・強化され、一層推進されることを大いに期待している。そこで何う。県では、青少年の健全育成の推進にどのように取り組んでいるのか。

**環境生活部長** 情報化、グローバル化、少子高齢化など、社会環境が大きく変化

する中、青少年の健全な成長と社会的自立を実現するためには、社会全体で青少年の健全育成活動に取り組んでいくことが必要です。このため県では、「青少年相談員」を県内すべての市町村に配置し、スポーツや野外活動等を通して青少年との交流活動を推進するほか、

ボーイスカウト・ガールスカウトや見守り・補導活動を行う青少年補導員などの団体に対し、研修会への講師派遣や活動助成などによる活動の活性化、情報共有を図っています。

また、善意や親切心からよい行いをした青少年や青

少年の育成に顕著な功績のあった方を称える「ライトブルー賞」の表彰や、「中学生の主張」千葉県大会の開催、内閣府の青年国際交流事業「東南アジア青年の船」の地方プログラム受入等を行っており、引き続き、千葉県の未来を担う青少年の健全育成を推進してまいります。



自席から要望する森議員

## 児童虐待、警察との連携強化が重要

**森議員** 県内では児童虐待相談対応件数は依然として増加傾向にあり、児童相談所の人員体制の強化が急務となっている。また、児童相談所への虐待の通告の多くは警察からのものである現状を踏まえると、警察を始めとする関係機関との更なる連携強化が求められている。

児童虐待を早期に発見し、被害児童を早期に保護するためには、児童相談所と警察が情報共有を徹底し、連携を一層強化していくことが重要である。そこで、県警における児童虐待事案への対応状況はどうか。

**警察本部長** 110番通報や警察相談等により、児童虐待事案を認知した場合、警察官を現場に臨場させ、児童の安全確認及び安全確保を最優先とした措置を図っているところであり、児童の安全確認等の結果、虐待を受けたと思われる児童については、児童相談所に迅速な通告を行い、同所による一時保護の措置が講じられるよう連携した対応に努めているほか、事案の危険性・緊急性を踏まえ、事件化すべき事案の捜査を速やかに行い、児童の安全確保を図っております。

**警察本部長** 県警では、児童虐待事案に関し、児童相談所から立入調査や一時保護等の援助要請があった場合は、警察職員をこれに同行させるなど、連携して対応しているほか、児童相談所との合同研修を通じて、児童虐待への対応力の強化を図っているところであります。

また、児童虐待への対応に警察官の知識、経験を生かすため、県内すべての児童相談所に警察官又は警察OBを配置していただいております。児童相談所との円滑な連携を図っております。

**森議員** 児童相談所との連携はどのようにしているのか。

**警察本部長** 県警では、児童虐待事案に関し、児童相談所から立入調査や一時保護等の援助要請があった場合は、警察職員をこれに同行させるなど、連携して対応しているほか、児童相談所との合同研修を通じて、児童虐待への対応力の強化を図っているところであります。

また、児童虐待への対応に警察官の知識、経験を生かすため、県内すべての児童相談所に警察官又は警察OBを配置していただいております。児童相談所との円滑な連携を図っております。

### 要望

**児童相談所として** 児童虐待への対応力の強化に努めていることが分かった。また、児童相談所の体制強化のため警察官や警察OBを配置することは、非常に心強く感じている。今後も新設される児童相談所を含め、県内の全ての児童相談所と県警との連携を一層密にし、児童の安全確保を最優先として万全の対応をお願いする。

**森議員** 民間企業の採用情報や少子高齢化に伴う就職適齢期人口の減少などにより、あらゆる分野で「なり手不足」が深刻な問題となっている。そのような中、国では多様な人材の活用を推進しているが、中でも女性の活躍は人材確保のみならず、職場の活性化、生産性の向上などにも資する重要な取組とされている。

男性が多い職場とのイメージがある警察においても、女性警察官が持つ多様な視点や能力が警察全体の活力向上につながるよう、女性警察官が活躍していることをアピールしていくことが

重要と考える。そこで何う。女性警察官の採用拡大、登用についての取組状況と女性警察官の幹部登用における今後の課題はどうか。

**警察本部長** 県警では、平成23年度から各種取組を推進してきたところ、令和7年4月1日現在、女性警察官は1,404人で、10年前と比較し、約1.4倍となっております。また、上級幹部と言われる警視、警部の人数については、10年前の平成27年4月1日現在は警視はおらず、警部4人であったところ、令和7年には、警視5人、警部25人に増加するとともに、新たに女性警察官が所属長として配置されたほか、あらゆる部門で活躍しております。

幹部登用における課題については、出産や育児等のライフイベントを迎えている女性警察官が増え、今後その傾向が続くことから、女性特有の健康課題への取組に配慮しつつ、仕事と家庭を両立しながらキャリア形成できるように支援していくことであると認識しております。

また、善意や親切心からよい行いをした青少年や青年の育成に顕著な功績のあった方を称える「ライトブルー賞」の表彰や、「中学生の主張」千葉県大会の開催、内閣府の青年国際交流事業「東南アジア青年の船」の地方プログラム受入等を行っており、引き続き、千葉県の未来を担う青少年の健全育成を推進してまいります。

## 高潮対策を急げ

**森議員** 木更津港海岸の背後地には、木更津市役所をはじめ、警察署や消防署、JR木更津駅など、行政・防災・交通の中枢を担う重要な公共施設や都市機能が数多く集まっており、木更津市の中心的な役割を果たしている。

そのため、高潮による浸水が発生し、これらの施設が機能停止に陥った場合、市民生活や救急・救助活動、行政サービスの継続に重大な支障が生じるだけでなく、都市機能の麻痺や二次災害の発生など、被害が長期化・深刻化する恐れがある。

そこで何う。木更津港海岸における高潮対策事業の整備状況はどうか。

**県土整備部長** 木更津港海岸においては、背後の市街地を高潮や波浪による浸水被害から守るため、護

岸の改修や、排水機場の整備などの高潮対策事業を実施してきたところです。今年度は、吾妻地先における護岸の嵩上げや、新田地先における護岸の補修工事を実施するとともに、吾妻排水機場で未整備となっていた2基目のポンプの実設計を行ってまいります。

引き続き、地域の安全・安心を確保するため、関係機関と連携しながら、高潮対策事業を着実に進めてまいります。

また、善意や親切心からよい行いをした青少年や青年の育成に顕著な功績のあった方を称える「ライトブルー賞」の表彰や、「中学生の主張」千葉県大会の開催、内閣府の青年国際交流事業「東南アジア青年の船」の地方プログラム受入等を行っており、引き続き、千葉県の未来を担う青少年の健全育成を推進してまいります。

**要望** 引き続き、木更津港海岸の高潮対策事業について、吾妻排水機場の機能向上など施設整備を着実かつ早期に進めていただきたい。

●木更津市と県政についてのご意見をお寄せください

**森岳 県議事務所**  
〒292-0805 千葉県木更津市大和2丁目6番8号103  
TEL 0438-38-5050 FAX 0438-38-5051  
URL www.mori-gaku.jp/ E-mail info@mori-gaku.jp/

**森岳県議プロフィール**

○ 経歴 ○  
昭和54年5月31日生まれ  
平成4年3月 木更津市立鎌足小学校卒業  
平成7年3月 木更津市立鎌足中学校卒業  
平成10年3月 県立木更津高等学校卒業  
平成14年3月 中央大学法学部政治学科卒業  
証券会社勤務  
平成16年6月 浜田靖一事務所入所  
平成27年4月 千葉県議会議員選挙初当選  
令和元年4月 同2期目当選  
令和5年4月 同3期目当選

○ 役職 ○  
ちば自民党幹事長代理  
ちば自民党青年局長  
土石採取対策審議会  
環境警察常任委員会